



2023年10月31日

各位

会社名 飯野海運株式会社
代表者 代表取締役社長 大谷 祐介
コード番号 9119 (東証プライム)
問合せ先 SR広報部長 羽山 晶子
(TEL 03-6273-3069)

2024年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異、通期連結業績予想の修正、
剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2023年7月31日公表の2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績との差異につきまして、下記の通りお知らせ致します。

また、本日2023年10月31日開催の取締役会において、2024年3月期通期連結業績予想の修正、中間配当の実施及び期末配当予想の修正について決議しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 業績予想と実績の差異

(1) 2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
直近の業績予想(A) (2023年7月31日発表)	百万円 65,000	百万円 7,400	百万円 7,900	百万円 7,300	円 銭 69.00
実績値(B)	67,573	8,820	10,357	9,667	91.37
増減額(B-A)	+2,573	+1,420	+2,457	+2,367	
増減率(%)	+4.0%	+19.2%	+31.1%	+32.4%	
(ご参考)前年同期実績 (2023年3月期第2四半期)	70,474	10,415	11,768	14,369	135.81

(注) 前年同期実績は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前年同期数値として記載しております。

(2) 差異の理由

主に大型LPG船の市況が歴史的な高水準で推移したことや、第2四半期連結会計期間で軟化を見込んでいたケミカルタンカー市況が、想定よりも堅調に推移したことにより、営業利益は直近の業績予想を上回りました。また、当第2四半期連結会計期間に為替が大きく円安(対US\$)に振れたこともあり、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は直近の業績予想を大幅に上回りました。

2. 業績予想の修正

(1) 2024年3月期通期連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
直近の業績予想（A） （2023年7月31日発表）	百万円 128,000	百万円 13,000	百万円 13,300	百万円 12,300	円 銭 116.25
今回予想（B）	135,000	16,200	17,400	17,500	165.40
増減額（B－A）	+7,000	+3,200	+4,100	+5,200	
増減率（％）	+5.5%	+24.6%	+30.8%	+42.3%	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	141,324	20,017	20,858	23,378	220.96

（注）前期実績は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前期数値として記載しております。

(2) 修正の理由

上述の通り、当第2四半期連結累計期間の業績は直近の業績予想を上回りました。第3四半期連結会計期間以降は、直近の業績予想発表時（2023年7月31日）の想定に比べ、ケミカルタンカー市況及び大型LPG船市況が堅調に推移することを見込んでおります。また、為替相場の円安（対US\$）傾向に加え、直近の業績予想発表時には見込んでいなかった船舶の売却益等を計上予定であることを踏まえ、通期連結業績予想の修正を行いました。

なお、イスラエルとイスラム組織ハマスの軍事衝突に伴う中東情勢の緊迫化につきましては、現段階において当社グループの業績への影響はなく、通期業績予想にも織り込んでいません。今後の中東情勢の推移を踏まえ、業績予想数値の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

直近の業績予想及び今回予想における為替レートと船舶燃料油価格は、以下の通りです。

※第3四半期以降の為替レート及び船舶燃料油価格の前提

<直近の業績予想発表時の前提>

為替レート 第3四半期・第4四半期連結会計期間 128円/US\$

船舶燃料油価格 第3四半期・第4四半期連結会計期間 US\$610/MT

[油種：適合燃料油(Very Low Sulfur Fuel Oil) 補油地：シンガポール]

<今回発表予想前提>

為替レート 第3四半期連結会計期間 145円/US\$

第4四半期連結会計期間 140円/US\$

船舶燃料油価格 第3四半期・第4四半期連結会計期間 US\$700/MT

[油種：適合燃料油(Very Low Sulfur Fuel Oil) 補油地：シンガポール]

3. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

(1) 剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2023年7月31日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2023年9月30日	2023年9月30日	2022年9月30日
1株当たり配当金	25.00 円	18.00 円	27.00 円
配当金の総額	2,645 百万円	—	2,857 百万円
効力発生日	2023年11月27日	—	2022年11月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
直近の配当予想（2023年7月31日）		17.00 円	42.00 円
当 期 実 績	25.00 円		
今 回 修 正 予 想		25.00 円	50.00 円
前期(2023年3月期) 実績	27.00 円	38.00 円	65.00 円

(3) 理由

当社は長期的な企業価値の向上によって安定配当を継続することに加え、配当額と利益成長との連動性を高めるため、通期業績に対して配当性向30%を基準とした配当を継続していくことを基本方針としております。

2024年3月期連結業績予想の修正の通り、当期の業績は直近の業績及び配当予想の発表時（2023年7月31日）から改善する見込みです。業績の改善見込みと前述の基本方針に基づき、当第2四半期末の1株当たりの配当金につきましては、直近の配当予想から7円00銭増額の25円00銭とすることを、2023年10月31日開催の取締役会で決定しました。期末配当につきましては、直近の配当予想から1株当たり8円00銭増額の25円00銭、通期で50円00銭の配当を予定しております。

当社としては引き続き業績の向上に向けて努力すると共に、今後の利益水準及び財政状態並びに株主還元策を総合的に勘案して、1株当たりの配当金について決定する予定です。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上